



私たち滋賀産業株式会社は、明治41年に創業以来、一貫して金属加工分野を歩んできました。長年の経験を活かし、プレス加工、精密板金加工の技術の蓄積と生産性の向上を図ってきました。また、地球環境の危機が大きな問題となっている現在、当社では、ISO9001、ISO14001活



代表取締役社長 横江 雅弘

お客様に満足される製品を供給することにより社会に貢献していきます。

現在の安全衛生活動、ISO9001、14001活動、人権教育をベースに、SDGsの活動に取り組み、社員及びその家族の健康と幸福を願ひ、事業を発展させていきたいと考えています。

動を通じて省資源、省エネルギーの生産体制を確立し環境活動にも注力していきます。

激動の時代、企業の活性化を図るために、若い力と柔軟な発想力も重要であり、心でつながれた人間関係をベースに人材育成にも注力していきます。

SDGsの実践は、先代社長がよく口にしていた『みんなでしあわせになろう』とも通ずる活動であり、各自の主体的で積極的な取り組みになればよいと考えています。

地元草津に生まれ、琵琶湖とともに歩んできた当社は、これからも地域社会の発展と併せて邁進し、貢献したいと考えています。



## 1 歩留り率を高め、環境負荷をさらに軽減



ISOの取得も環境負荷低減につながっている

当社では2001年にISO14001を取得して以降、電力や紙、加工油、廃棄物などの使用量削減を推進してきました。数年前にはパンチングの工程を油圧式からサーボモーターに切り替え、2021年度は工場や社屋の照明をすべてLEDに転換。環境負荷の軽減をより進めるため、2022年度から新たに取り組んでいるのが、歩留り率のアップです。板金加工を行う際、1枚の鉄板から形状や用途などが異なる複数の部品を切り出すことで、材料を無駄なく活用。人為的には労力のかかる作業を、自動でレイアウトする「ネスティング」というソフトを導入することで工程の効率化を図りました。歩留り率を高めることによって、材料のコストや廃棄量を削減すると共に、生産性の向上に取り組んでいます。



## 2 働く人の権利や暮らし、健康を守る

当社は小規模ながらユニオン・ショップ制を導入しており、機械・金属産業を中心とした産業別労働組合「JAM」に参加。昇給や賞与、業績の変動といったタイミングで、当社組合の代表と当社役員が労使協議会を行い、ベースアップ交渉や情報共有などを行なっています。現在、当社の年間休日は120日、福利厚生の一環として「経済産業医療企業年金基金」にも加入し、待遇面の充実を図ることにより、人材不足の解消にもつながっています。また、社内には、「安全衛生委員会」を設置し、KYT（危険予知訓練）活動に取り組んでいます。同委員会が中心となって職場環境を整備するための「5S3定」も推進。従業員の安心・安全を担保し、より働きやすい職場づくりを進めています。



## 3 働きがい向上で生産性向上を目指す



全体朝礼の様子

2022年度から毎月一日に行う全体朝礼では、前月の売り上げ見込みと、当月の受注状況を発表しています。その報告を行うため、新たに毎週一回の営業会議を実施。全従業員が業績の現状を認識・共有し、成果や課題を可視化できるように取り組んでいます。日常の業務と業績との関連性を示すことで、各自に働きがいを生み出すと共に、他部門とのコミュニケーションの円滑化を図り、組織力の強化や生産性の向上を目指しています。



## 4 地元企業とのパートナーシップ

当社は、「滋賀県シートメタル工業会」の活動を通じて同業者間の連携促進に努めています。滋賀県に拠点を置く板金加工製造業で結成される「滋賀県シートメタル工業会」は、「技術情報や経営情報の交換、加工技術の研究や経営の研究、技能教育、人材育成などを積極的に推進して、新たな時代を迎えるにふさわしい体制を整備する」という設立趣旨に則り、様々な活動を展開しています。加盟企業が、協力・補完しあうことで、発注先からの多様な要請に応える体制も構築されています。当社は、こうした活動を通じて自社や県内の同業社だけではなく、滋賀県全体の産業振興にも寄与していきたいと考えております。



## 5 まちづくりや教育現場に協力し、地域社会に貢献



地元の清掃活動への参加

社内の環境整備だけでなく、年に2～3回は地元の清掃活動に従業員が参加。毎年、専門の業者に依頼して騒音や振動などを測定し、近隣への影響を客観的に確認しています。また、当社では以前から、地元の小学校の会社見学会や、滋賀県立瀬田工業高校の生徒のインターンシップなどを実施。未来を担う子どもたちに学びや体験の機会を提供し、地域の産業や働くということの理解を深めていただく活動も支援しています。